

REST API のご紹介

2014年3月20日

先端IT活用推進コンソーシアム
クラウド・テクノロジー活用部会
上村 準也

ここでの REST API




- きちんとした定義もあるようですが...
 - [気象庁XML用API](#)の中で一番簡単なもののこと
- RDBに貯めた[気象庁防災情報XML](#)を検索
 - 気象庁防災情報XMLは平成25年12月から配信
 - とりあえず1年くらい貯めてみる
- 最初は簡単に見るための[トップページ](#)だけ
 - PostgreSQL の XML 対応を試したくてAPIを作る
 - AITC の勉強会で使われたりするように

- 気象庁防災情報XMLは自由に使えますが...
 - PubSubHubbubによる配信なので、受信まで一手間かかります



– 「とりあえず、どんな情報があるか見てみたい」

- 過去のデータが全部欲しい！ 
 - 実はもう30万件以上あります
 - API経由では全て取得するには遅すぎ
 - 手元に全てあっても、1件ずつ眺めるのも難しい
 - (プログラムのテストとかには必要かも...)

REST API の本当のところ



- AITC は最初の実験台
 - XMLフォーマット策定の経緯があるので話は早め
 - 普通に一般公開されたデータを受信
- 気象庁防災情報XMLの利用は特に制限なし
 - 残念なのは AITC の API がいつでも / いつまでも使えるわけではないこと
 - PubSubHubbubによる配信は目的に合ったもの、利用すると決めたらぜひ直接受信してください

今後ともお手柔らかにお願いいたします